

令和4年第1回北海道議会定例会 冒頭先議 開催状況（経済部地域経済局中小企業課）

開催年月日 令和4年2月25日
 質問者 日本共産党 菊地 葉子 議員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費補助金について</p> <p>(一) 道特別支援金の効果に関する評価について (菊地議員)</p> <p>感染症の影響の長期化で中小・小規模事業者の経営はますます厳しくなっています。変化する消費行動や企業活動に対応し、中小・小規模企業が行う、新事業展開や販路開拓等の取り組みへの補助が計上されています。この制度の効果を高めるためにもこれまで行ってきた中小・小規模事業者への道特別支援金の効果についての検証が必要と考えます。どのように評価してきたのか伺います。</p> <p>(二) 支援対象について (菊地議員)</p> <p>コロナ禍にあって多くの事業所が新事業展開や販路開拓等に取り組むにあたってはアフターコロナに向かって事業継続が確実なものとなるよう、できるだけ多様な採択メニューを確保することが大事と考えます。どのように制度設計を構築するのか伺います。</p> <p>また、今補正予算は新規事業が対象となっており、支援対象を拡大するべきと考えますがいかがか伺い私の質問を終わります。</p>	<p>(知事)</p> <p>道特別支援金についてであります。道では、休業要請などにご協力いただいた飲食店などの取引先の皆様や、外出自粛などで売上が減少した、国の支援金の対象とならない、幅広い事業者の皆様に対し、特別支援金を支給してきたところでございます。</p> <p>この支援金については、厳しい経営環境にある、多くの事業者の皆様にご活用いただき、支援額が少ないとの声がある一方で、無利子融資や国の各般の支援策と合わせて、経営の維持や継続につながったとの声が寄せられているところでございます。</p> <p>(知事)</p> <p>最後に、中小・小規模企業の皆様への支援についてであります。長期に及ぶ感染症の影響により、人々の生活様式や企業活動が大きく変化している中、中小・小規模企業の皆様は、将来を見据えた取組を迅速に進めていくことが重要であることから、道では、国の補助金の対象とならない、新事業展開や販路開拓など、ポストコロナに向け新たにチャレンジする取組を支援する事業を本定例会に提案いたしました。</p> <p>この事業では、キッチンカーによるテイクアウト販売や、インターネットを活用した通信販売の取組といった幅広い内容を補助対象とするとともに、既存商品の改良や販売エリアの拡大などの取組についても対象に含める考えでございます。</p>